

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

令和2年度 池田支援学校 美馬分校「学力向上実行プラン」

池田支援学校長
(美馬分校)

喜馬久典

印

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	喜馬久典 野崎明美
学力向上推進員	教諭 高等部長	佐藤玲子
委員	教諭 教育総務課長 教諭 総合支援課長 教諭 学校生活課長	長尾裕子 岡田祐介 西村全伸

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

(高等部) 生徒の状況			
よさ	目標を示し、自己評価・教員からの評価をすることで、達成感や今後の課題を意識できるようになってきた。	課題	生徒が自分の力を客観的に見ることが難しく、過大評価や過小評価してしまう生徒が多い。自己理解を深め、課題に向けての意欲の向上や達成感を高めさせたい。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
・生徒自らが、作業学習における目標設定や自己評価を行い、自己肯定感を高めることができる。		・作業学習において、自分で目標を考え、自己評価と教員の評価を加え作業記録にまとめることができる。 ・作業学習での目標達成率が80%以上である。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
・生徒が意欲的に取り組めるような支援方法を担当教員間で共有する。 ・個々の生徒の望ましい姿・行動を情報共有し、望ましい行動支援の方法を探る。		・担当教員で共通理解を図り、生徒が目標設定や評価をしやすいように資料等の準備をしたり、支援方法を検討する。 ・ポジティブな行動支援等の研修会や検討会を1回以上実施する。	
* 中間期の見直し			
達成状況を踏まえた改善事項			